

# 勤務条件 WORKING CONDITIONS

## 行政手続きのデジタル化

これまで職員が手入力していた業務等をロボットが自動で行うRPAなどのICTを活用した、抜本的な効率化に取り組んでいます。

## 在宅勤務(テレワーク)の推進

全職員を対象に在宅勤務を推進しています。テレワーク専用端末等の貸し出しも行っており、自宅でも職場と同じ環境で勤務することができます。

## 1人あたりの時間外勤務は16.2時間/月

1ヶ月の時間外勤務が約16時間ということは、1日1時間にも満たない計算です。  
※令和2年度の大分県庁(知事部局)の職員1人あたりの時間外勤務

## 定時退庁(通常の勤務時間では17時15分)のための取組も様々

毎週水曜日を「定時退庁日」として、定時に退庁できるように声かけが行われています。また、土木建築部では水曜日に加え、毎月11日と18日が漢字で書くと「土」「木」に読めることから、「土木の日」として、定時退庁の声かけを行うなど、各部局で様々な定時退庁の取組が行われています。

## 完全週休2日制+年次有給休暇20日+夏季休暇5日

土曜日・日曜日・祝日・年末年始が休日となる完全週休2日制で、年間20日(4月採用の場合、12月までに15日)の年次有給休暇が取得できます。加えて、6月から9月までの間に夏季休暇が5日取得できます。

## 1人あたりの年次有給休暇取得実績は14.4日/年

※令和2年の大分県職員(知事部局の一般職)の年次有給休暇取得実績

## 給料について

初任給は、採用前の学歴や経歴に応じて加算されます。例えば、行政職(上級)の合格者で採用時の年齢が29歳、大学卒業後民間企業等における正規職員としての職務経験年数が7年の場合、月額223,800円です。ただし、個人ごとの職務経験等に応じて金額は異なります。諸手当については、期末・勤勉手当(ボーナス)が6月、12月の年2回、計4.45か月分支給されるほか、扶養手当、住居手当、通勤手当などが支給されます。

(令和4年2月1日現在)

試験の種類等		初任給
行政職	上級(大学卒業程度)	188,700円
	中級(短大卒業程度)	168,900円
	初級(高校卒業程度)	154,900円
公安職	警察官A(大学卒業)	208,600円
	警察官B(高校卒業)	176,500円

# 福利厚生 WELFARE

## 福利厚生について

知事部局に勤務する職員の例として、以下のものがあります。

### 職員住宅

独身者用、単身者用、世帯用などの職員住宅が県内各地に設置されています。

### 健康診断等

全職員を対象とした毎年1回の定期健康診断と特定年齢での人間ドックを実施するほか、各種がん検診も受診できます。また、ストレスチェックや専門スタッフ等による健康相談も実施しています。

### 給付制度

職員やその被扶養者が病気やけがをした場合は、地方職員共済組合や互助会から医療費の給付が受けられるほか、結婚、出産、子どもの入学、休業、災害などの場合にも給付を受けられます。

### 貸付制度

生活必需品の購入、住宅の購入、子どもの入学や修学、介護、療養、災害などで資金を必要とする場合に地方職員共済組合や互助会から貸付を受けられます。

### 文化厚生事業

対象となる宿泊施設やレジャー施設を利用する際に補助を受けられます。

## 採用後のサポートについて

### 研修 新採用職員研修

#### ○4月:前期研修

入庁後すぐ、県職員としての心構えや業務遂行に必要な基本的な知識、社会人としての基本的な態度や姿勢を学びます。研修を通じて同期との絆も深まります。

#### ○6月から11月頃:農業等現場体験研修

農業などの現場や小規模集落の共同作業を通じて、県職員としての自覚と意識を高めるとともに現場感覚を養います。

#### ○10月:後期研修

職場での実務経験を踏まえ、仕事の進め方を円滑にするコミュニケーション能力を身に付けます。  
※その他の研修については、ホームページをご覧ください。

研修について



### 制度 指導担当者制度

新規採用職員一人ひとりに、職場において指導にあたる新採用職員指導担当者を配置しています。

### 制度 グループアドバイザー制度

先輩職員がグループアドバイザーとなり、食事会などを通じて交流し、職場外での自己啓発支援やプライベートの相談を受けるなど、職種や配属先の垣根を越えてサポートしています。

### 制度 特別相談員制度

県職員OBが特別相談員となり、個別面談を通じて仕事や職場環境、健康状態や生活習慣などについて相談のっています。